

「第2次小平市子ども読書活動推進計画」平成23年度進捗状況

「第2次小平市子ども読書活動推進計画」の平成23年度の進捗状況がまとまりましたので、「第4章 実施のための計画」にそって報告します。

1 家庭における読書活動の推進

子育て支援事業との連携事業として、市内の児童館では「おはなしのじかん」、「絵本のへや」の絵本やおはなしを親子で楽しむ会、「かみしばいのひ」などが行なわれました。子ども文庫連絡協議会のおはなしのメンバー「いとぐるま」も児童館の事業に協力しています。児童館だよりの行事カレンダーなどで開催日を紹介しています。

児童課では、「**子育てガイド**」を毎年発行しており、図書館の行事案内や市内の子育てに関する情報などを掲載し、見開き部分が楽しい手作り絵本になっています。市内の各施設で配布しました。

健康課が実施している**3～4か月児健診**では、**絵本リストや図書館案内を配布**しています。待ち時間を利用して図書館職員がロビーで絵本の読み聞かせを実演したり、「絵本のへや」の案内などを行いました。今後も保護者の関心の高い絵本の読み聞かせなどについて情報提供を進めていきます。

公民館の「**家庭教育講座**」のなかで、平成23年度は、『父親のための絵本の読み聞かせ講座』を実施しました。公民館では今後も読書を通じて図書館と協力連携を図っていきます。

図書館では幼い時から本に親しむ機会の提供として、2～3歳児と保護者を対象に絵本の読み聞かせや手遊びなどを行う「絵本のへや」を平成5年度から始め、全図書館で実施しています。平成23年度も「おはなし会」、「児童文学講演会」、図書の展示、ブックリストの配布など子どもの読書への理解を深め、**家庭における読書活動**につながる多くの取組みを実施しました。

2 学校における読書活動の推進

第2次計画では、学校図書館の充実と学校図書館と市立図書館との連携推進に重点においています。

小平市内のほとんどの学校では全校一斉の読書活動を行い、**学校図書館活用計画**の年間の取組として、多くは秋に**読書旬間**などを学校全体で設けています。**朝読書**では児童・生徒と先生が教室で一緒に本を読み、身近に本がある環境作りを進めています。

また、平成24年度からの「こだいらの小・中連携教育」の共通プログラムの一つの視点である『学力の向上』の取組では、計画的・継続的な読書活動を取り上げ、『読書マラソン』を小・中学校で連携し、中学校区ごとに実施することを検討しました。

小・中学校の全蔵書がデータベース化され、**学校図書館システムを活用**して貸出・返却・蔵書点検などを行い、学校図書館の推進が図られました。簡単な本の貸出手続きにより貸

出冊数の増加につながっています。

学校間の相互利用については、引き続き検討していきます。

学校図書館配送システムの活用により、特別団体貸出（調べ学習用図書の貸出）を借り受けています。総合的な学習の時間のほかに、図工の時間の鳥の絵を描く際に図鑑を借りて授業を行うなど、教科の学習の様々な部分で図書館を活用する場面がありました。

学校図書館図書標準の達成率は年々上昇し、図書標準を満たす学校は、平成 22 年度よりも増えましたが、まだ満たしていない学校もあることから図書購入費の予算を見直して、すべての学校での国基準の達成に今後も努めていきます。

購入方針・廃棄基準の整備については、全国学校図書館協議会で作成している『廃棄基準』を各学校に周知し、各学校での整備を働きかけました。

地域資料については、こげらネットで「わたしたちの小平市」を公開しています。小学校では引き続き玉川上水や伝統工芸等、中学校では都内見学や近隣市の文化などの学習に図書館の地域資料を活用していきます。

学級における取組では、学級文庫の絵本や読み物が児童に活用されました。保護者による読み聞かせや、子ども文庫連絡協議会の「いとぐるま」によるおはなしの出前も小・中学校で行われました。各学級の朝読書では、児童・生徒と先生が教室で一緒に本を読み、身近に本がある環境作りを進めています。

児童一人一人の読書状況に応じた取組は、学校図書館の利用指導の中で行われました。

司書教諭は市内全校に配置され、図書館担当教諭とともに学校図書館の運営を行いました。今後さらに司書教諭を中心にした各教科の学習の展開と読書活動推進のための取組を充実させていきます。**司書教諭等連絡協議会**は、司書教諭、図書担当教諭、学校図書館協力員、学校図書館相談員、図書館職員が参加し、学校図書館での読書活動の様々な取組に関する有意義な情報交換の場として活用されました。

学校図書館協力員は、小・中学校全校に配置され、司書教諭の指示のもと学校図書館の整備が進み、児童・生徒の読書活動の活性化が図られました。図書館では、学校図書館協力員への研修を実施しています。

学校図書館ボランティアによる整備が進み、季節の飾り付けがされた学校図書館では、児童・生徒が暖かい雰囲気の中で読書しています。生涯学習推進課では、図書館職員を講師として図書修理、読み聞かせなどの**学校支援ボランティア講座**を実施しました。

指導課では、実践研究に向けて**読書指南役の役割**等について協議を行い、理解を深めました。「第二次東京都子供読書活動推進計画」のモデル事業の動向を見ながら引き続き研究を進めていきます。

小学校教科等研究会図書館部会では、「児童の豊かな心を養う」こと、学習・情報センターとしての役割「効果的に学習を進める」ための活用研究を進めました。

特別支援学級では、学校図書館での読書等を行い、読書指導を行っています。

図書室だよりなどでは各学校で図書の展示や読書に関する取組が紹介されました。児童・生徒による**図書委員会活動**も活発に実施され、図書の貸出や「図書だより」の発行な

どの広報活動も行われました。

3 図書館における読書活動の推進

図書館では、**調べ学習用図書や蔵書の充実**を図るため、新規購入図書の選書、買換えを行うとともにブックリサイクルを実施しました。**資料情報の提供**ではテーマ別展示を行ったり、図書館ホームページでは夏休みおすすめ本リストの本の紹介、地域レファレンス事例等の掲載を行いました。

乳幼児サービスの充実に向けては、「絵本のへや」を実施するとともに、3～4か月児健診に出向き、読み聞かせの実演や行事の紹介などを行い、図書館利用の促進を図りました。

平日に実施している**おはなし会**に参加しにくい児童に向けては「夜のおはなし会」や「父の日スペシャル」を実施し、親子でおはなし会を楽しむ機会を提供することができました。今後も夜間や休日の実施を続け、子どもたちが参加できる機会を増やすよう努めていきます。12月には全館で「おたのしみ会」も行いました。

中央図書館の**ティーンズコーナー**には、一般書と児童書からティーンズ用に選んだ図書を排架しており、職業の本などがよく利用されました。

図書館ボランティア入門講座は、小学生から大学生までの幅広い年代を対象に実施し、朝の排架、ポスター作りやおはなし会の誘導などを通じて図書館への理解を深める夏休みの行事として定着してきました。

児童図書に関する講演会や講座は、子ども文庫連絡協議会と共催して実施しました。児童を対象とした「子ども科学講演会」、本の探し方などを学ぶ「調べ方教室」は好評で多くの参加がありました。

小川西町図書館では、**布の絵本・点訳絵本**をボランティアに依頼して作成しています。中央図書館ではイベント「布の絵本であそぼう」を、小川西町図書館では幼児コーナーに展示して自由に遊べるようにするなど紹介に努めました。小川西町図書館で実施した**障がい者の自立に関する講演会**では、「介助犬」の実演も行い好評でした。

外国語絵本については、展示コーナーでのテーマ別展示などを通じて紹介に努めるとともに貸出を行いました。

学校図書館との連携は、**図書館相談員**による学校図書館への巡回、相談などに併せ、授業支援のためのリスト作成や相談員だよりの発行など新たな支援に取り組みました。

学校図書館協力員への支援を図るため、学校図書館システムの操作、図書修理、読み聞かせやブックトークの習得など図書館活動に活かせる研修を実施しました。

図書館見学、職場体験、インターンシップ等の受け入れを実施しました。図書館の仕組みを知ってもらうとともにキャリア教育の一環として、さらに図書館サービスへの理解を深める機会を提供していきます。学校からも図書館での職場体験は、生徒の健やかな成長につながっているという評価をもらっています。

都立特別支援学校へは、福祉講演会のチラシやポスターを持参し、連携を図りましたが、今後も図書館で行う行事の周知を行っていきます。

都立図書館・国際子ども図書館との連携では、行事に関するポスター掲示、パンフレットの配布を行い広報に努めました。

おはなし学習会、ブックトークの研修などの**館内研修**に加え、都立図書館のレファレンスや製本研修、見学会、司書資格取得講習へ職員を派遣し、技術の取得と資質の向上を図り、利用者への援助やボランティアへの研修等に活かすことができました。

仲町図書館の建替えについては、基本設計に基づき実施設計を行いました。平成 24 年 2 月からの仲町図書館の休館に当たって、児童書についても精査して移管を行いました。**仲町図書館を活用した学校支援の取組**については、連携内容を充実させるための方策を検討していきます。

4 地域における読書活動の推進

保育園では、絵本の読み聞かせが保育の中で行われており、子ども文庫連絡協議会の「いとぐるま」によるおはなし会も実施しています。また、保護者向けに、読み聞かせをしている本を事務室前に掲示したり、おたのしみ会の中での劇やおはなし会の絵本を会場で紹介したりするなど、子どもの読書活動の推進に取り組んでいます。

児童館では児童図書の充実に努め、「おはなしのじかん」「かみしばいのひ」「絵本のへや」などの行事を実施しました。

学童クラブでは現場の求めに応じて、図鑑などを購入しています。平成 23 年度は全クラブで図書を購入しました。

青少年センターでは、青少年が気軽に利用できる居場所を提供しています。スタディールームには青少年向けの本を置いており、利用者からのリクエストなどを参考にして毎年購入しています。

市内公共施設での子どもの本の充実について、図書館では、平成 23 年度は子どもたちもよく利用する**地域センター** 1 1 館にリサイクル用の児童図書を提供しました。今後も子どもたちが身近な場所で本に親しめるように支援を行っていきます。

小平市子ども文庫連絡協議会は、図書館の開館以来、おはなし会や学習会、講演会などを共催で行ってきました。子ども文庫は、子どもの本がある身近な場所として、子どもが気軽に本を借りたり、おはなしを楽しむ場であり、地域の子育ての拠点ともなっています。

5 地域の力を生かした読書活動の推進

小平地域教育サポート・ネット事業により、図書館職員が講師を務め、読み聞かせや図書の修理などの**学校図書館ボランティア養成講座**を実施しました。学校図書館の図書が整備され、子どもたちに修理されたきれいな本が提供されています。

生涯学習推進課では、「学校図書ボランティアだより」の作成に代わり、平成 23 年度は小・中学校の図書ボランティアを対象に研修・交流会を 2 回実施し、情報交換を行いました。

図書館では、幼稚園や小学校などで読み聞かせをする方を対象に、絵本の選び方や読み

方などを図書館職員がアドバイスする「読み聞かせ実践講座」を実施しました。参加しやすいように保育付きの講座となっています。

6 読書推進体制の整備

平成 23 年度は、第 2 次計画の初年度にあたる平成 22 度の**進捗状況**について関連各課を対象に調査を行い、**子ども読書活動推進計画検討委員会**で実施状況について検討を行いました。

第 2 次計画では、第 1 次計画の中で実施が始まった学校図書館協力員の配置や学校図書館への配送便の継続を通じて、学校図書館の充実と図書館との連携推進事業をさらに推進させることができました。

7 啓発・広報

4 月 23 日の「**子ども読書の日**」に関わる行事として「**こだいら子ども読書月間**」を市内すべての図書館で実施し、子どもの本の展示などを行いました。中央図書館では、「拡大写本の会ひまわり」の会メンバーによる布の絵本や遊具で遊ぶ会が開かれ、多くの子どもや保護者でにぎわいました。

図書館ホームページでは、「こどもとしょかん」「夏休みおすすめ本」「こどもきょうどしりょう」などの情報発信に努めるとともに、図書館だよりの「こだいラッコ！」のページからは、子どもの本や児童サービスに関する情報提供、学校図書館の紹介に努めました。平成 23 年度からは、**図書館メールマガジンの発行**を開始し、児童サービスに関する行事案内なども配信しています。

図書館では、児童向けの**図書館案内や絵本リストを作成**し、カウンターや図書館見学などで配布しています。今後も子ども向けの行事や各種のブックリストの作成などを通じて児童サービスの啓発に努め、子どもの読書活動の推進につなげていきます。